

MEMBERS LIST

①生年月日 ②身長/体重 ③利き足 ④出身地 ⑤前所属 ⑥J2リーグ戦の出場/得点
※特別指定選手と2種登録選手の⑤は現所属チーム



文・戸塚 啓

長いシーズンも、いよいよ最終コーナーに差ししかかってきた。今節も6ポイントマッチである。勝点4差で追いかけてくる今治を振り落とす、上々に食らいついで今一戦だ。

第28節の札幌戦、第29節の長崎戦に敗れ、今シーズン二度目の連敗を喫した。とはいえ、試合内容は悪くない。トレーニングしているものを出せた場面は、攻撃でも守備でも確実にあった。ただ、先制を許したことが、結果的に試合を難しくした。

実力が拮抗したゲームでは、やはり先制点が大きな意味を持つ。NACK5スタジアム大宮には劇的なドラマを起こす「力」があるものの、追いかける展開からひっくり返すのは難しい。早い時間帯に先制点を奪うことで、精神的にも優位に立てたい。

ガブリエウ、イヨハ理ハナリー、市原吏音が不在のCBに誰が入るかが、今節のポイントになるだろう。相手の得点源のマルク

1

A soccer player in a blue jersey with 'unicharm' and 'J.League' logos is celebrating with his arms outstretched. The background shows a blurred crowd of spectators. In the top right corner, the text '© J. LEAGUE' is visible.

昨季J3得点王に輝き、今季もここまで12得点とブレイク中。J2昇格初年度の今治を最前線からけん引するのは「10番」を背負うブラジリアンだ。持ち前のスピードと腕力を生かした強引な突破に加え、ゴール前で躊躇なく振り抜く左足も圧巻。また、上背に似合わない、驚異的な跳躍力から見せる打点の高いヘディングも大きな武器だ。(松本 隆志)

期	日程	曜日	KO/OF	対戦相手	会場	期	日程	曜日	KO/OF	対戦相手	会場
1	2/15	SAT	2○1	山形	NACK	20	6/21	SAT	△0	鳥栖	NACK
2	2/22	SAT	1○0	甲府	NACK	21	6/28	SAT	△0	大分	クラド
3	3/2	SUN	4○0	熊本	えがés	22	7/5	SAT	1●2	いわき	
4	3/8	SAT	2○1	山口	NACK	23	7/12	SAT	1●0	甲府	JTUS
5	3/15	SAT	0●1	鳥栖	駅スタ	24	8/2	SAT	2○0	富山	富山
6	3/23	SUN	2○0	水戸	NACK	25	8/9	SAT	0●1	千葉	NACK
7	3/30	SUN	0●1	徳島	南門大庫	26	8/17	SUN	3○0	愛媛	ニンスタ
8	4/5	SAT	2△2	大分	NACK	27	8/23	SAT	1○0	熊本	NACK
9	4/13	SUN	2○1	秋田	ソユスタ	28	8/30	SAT	0●1	札幌	フレト
10	4/20	SUN	0△0	今治	アジさと	29	9/13	SAT	1●2	長崎	NACK
11	4/25	FRI	1○0	札幌	NACK	30	9/20	SAT	19:00	今治	NACK
12	4/29	TUE	1●2	いわき	ハウスタ	31	9/27	SAT	19:00	磐田	ヤマハ
13	5/3	SAT	2△2	富山	NACK	32	10/4	SAT	15:00	仙台	ユアスタ
14	5/6	TUE	2○1	千葉	国立	33	10/18	SAT	14:00	藤枝	NACK
15	5/10	SAT	3○0	仙台	NACK	34	10/26	SUN	13:00	山形	NDスタ
16	5/17	SAT	1○0	藤枝	藤枝サ	35	11/2	SUN	14:00	秋田	NACK
17	5/31	SAT	2△2	磐田	NACK	36	11/9	SUN	14:00	水戸	Ksスタ
18	6/8	SUN	1△1	愛媛	NACK	37	11/23	SUN	14:00	徳島	NACK
19	6/15	SUN	3△3	長崎	ピースタ	38	11/29	SAT	14:00	山口	みろスタ

J1 自動昇格枠							プレーオフ出場権							9月15日昇格枠							
順位	チーム	勝	分	敗	得点	失点	順位	チーム	勝	分	敗	得点	失点	順位	チーム	勝	分	敗	得点	失点	
1	水戸ホーリーホック	54	29	15	9	5	28	17	いわてFC	39	29	10	9	44	37						
2	V・ファーレン前橋	54	29	15	9	5	48	9	ヴァンフォーレ甲府	38	29	10	8	41	30	1					
3	シユウナイドナド市原	51	29	15	6	8	40	27	13	モンディアル山形	35	29	10	5	14	42	41	1			
4	徳島ヴォルティス	48	29	13	9	7	29	17	14	ブラブリック横浜	35	29	10	5	14	39	48	-			
5	シユビエ岡田	48	29	14	6	9	44	36	15	藤枝MYFC	33	29	8	9	12	35	48	-			
6	ベガルタ仙台	48	29	12	12	5	33	27	16	ロケット神戸	33	29	6	6	14	35	48	-			
7	RB大宮アルディージャ	47	29	13	8	39	25	16	17	サトウフエノ	30	29	6	12	11	23	33	-			
8	ザガン鳥居	46	29	13	7	9	34	31	3	18	レノバ山口FC	25	29	4	13	12	27	37	-		
9	FC今治	43	29	11	10	8	35	30	5	19	カターレ富山	23	29	5	8	16	22	39	-		
10	北朝鮮サッカーリーグ北朝鮮	40	29	12	4	13	36	49	35	20	愛媛FC	17	29	1	11	6	27	53	26		

PICK UP
PLAYER

DF
Yosuke
MURAKAMI
34

Q & A コーナー

Q. ニックネームは？
A. ムラ、ヨースケ

Q. 自分のプレーの特徴は？
A. ヘディング、対人

Q. 憧れのサッカー選手は？
A. ファン・ダイク

Q. チームメートの意外な一面は？
A. 一志が英語話せる

Q. チームメートで兄にすぎない誰？
A. 下口選手

Q. 「10の選手のこが好き」は？
A. と〜とやくんの丰レがすごいツツコミ

Q. ホツとする瞬間は？
A. 漏船に浸かったとき

Q. ファン・サポーターへひと言
A. 共に闘いましょ〜！

前節得た収穫と渴望感。
大宮の壁が今、真価を示す

離休のときを経て、存在感を示した。

前節の長崎戦で、村上は約3カ月ぶりに先発した。長崎とのアウェイゲーム(第19節)での悔しさを、試合開始からぶつけた。

「あの試合でファンマ(デルガド)にマークについて決められて、翌節の鳥栖戦で少し使われましたが、(前節の)長崎戦でまた出番が来たことに運命的なものを感じた。ここでもやなぎや男じやない。やり返さないといけない、と。試合に出られない中で積み上げてきたものは、発揮できました」

個人のプレーについては「良かったと思います」と言ふ。ただ、結果は1-2の敗戦だった。それだけに、自分のプレーをチームの勝利に結びつけられなかったことについては、「もちろん悔しいです」と語気を強めた。

長崎戦のアディショナルタイムには、流れの中で相手ゴール前へ上がり、決定的なヘッドを浴びせた。「あれを決められなかったことも含めて、もっともっとできるだろうとサッカーの神様に言われた気がします」

スタメンから遠ざかった時期も、高い緊張感を持って日々を過ごした。さらにプレッシャーをかけ続けた。

ポジションは自分の力で勝ち取るものだが、長いシーズンではケガ人が出たり、累積警告による出場停止があるものだ。だからそこ村上は、「いつ声がかかってもいいように」との思いで、準備を怠らなかつた。その結果が、長崎戦の好プレーだった。

ただために、勝利を目指して。チームのために戦い続ける。(戸塚 啓)

PICK UP
PLAYER

DF
Keita
FUKUI
44

Q & A コーナー	
Q. ニックネームは?	Q. 好きな食べ物?
A. けいた	A. メロン
Q. 自分のプレーの特徴は?	Q. 試合後に必ずすることは?
A. 対人の守備、フィード	A. 温泉に行く
Q. 憧れのサッカー選手は?	Q. 遠征に必ず持っていくものは?
A. カンナバーロ	A. ケア道具
Q. 好きな海外のサッカー選手は?	Q. 大切にしている時間は?
A. リサンドロ・マルティネス	A. 寝る前の時間

今こそ、救世主たれ。
対人の強さを発揮するとき

いよいよ、との期待が高まっている。

CBはガブリエウとイヨハ理ヘンリーが離脱中で、市原吏音がU-20日本代表に招集されている。その中で、福井啓太の存在がグロースアップされているのだ。

プロ1年目の今季は、プレシーズンのキャンプからアピールを続けてきた。早い段階で試合に絡むのでは、との声も上がっていたほどだが、公式戦デビューは3月のルヴァンカップとなった。その後は5月の天皇杯1回戦に出場した。J2リーグでは出場こそないものの、8月以降は6試合中5試合でメンバー入りしている。

「シーズンをとおしてこれまで、準備をし続けてきました。ベンチ外のスタンドから試合を観る時間が長く続いて、その中で学んできたこともあります。それをピッチの上で出さなければ、意味がありません。出場するチャンスを得ようと思ったら、自分が持っているものをすべて発揮して、チームの力になります。勝利に貢献したいです」

J1自動昇格枠とプレーオフ出場圏をめぐる争いは、史上まれにみる混戦となっている。3連敗は絶対に避けなければならない。福井も「上についていくか、下に落ちてしまおうか。今治戦はものすごく大事な位置づけの試合です」と話す。

今治の前線には、マルクス・ヴィンシウスがいる。馬力のあるプレーで局面を開闊してくる選手だ。福井が自らの特長にあげる「対人の強さ」を発揮し、このブラジル人を封じれば、勝利が近づくだらう。(戸塚 啓)